

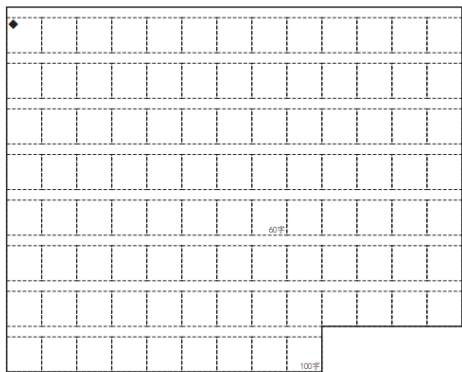
#### IV 京都市を除く教科の調査結果の概要

##### 1 教科の概要（京都市を除いている。）

- 全国と比較して、D層（下位）の割合は少ない傾向にあるが、算数・数学、英語においてはA層の割合も少ない。
- 領域や観点によって、全国平均を下回っているものもあるが、全国の傾向と大きな違いはない。

##### (1) 小学校国語

- ・他の領域に比べ、書くことの領域に課題が見られる。図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかをみること（府正答率26.4%、無答率5.5%）に課題がある。
- ⇒考えの形成を基に記述する資質・能力に関して系統的に指導することが重要。目的や意図に応じて書き分けたり、図表やグラフなどを用いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりすることが重要。



※上の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。  
 ※◆の印から書きましょう。どちらうで行を変えないで、続けて書きましょう。

○ ○ ○ ○ ○  
 (条件)  
 ○ 学校の米作りの問題点については、「川村さんの文章」のグラフ（農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量）と「カード④」のそれぞれから分かることを書くこと。  
 ○ 問題点の解決方法については、「カード⑤」をもとにして書くこと。  
 ○ 六十字以上、百字以内にとめて書くこと。

- 【カード①】  
 6月24日  
 ・思ったより学校の田んぼに雑草が生えてきた。  
 ・そのまま雑草が増えたら米のしゅうかくにえいさようするのではないかと心配だ。
- 【カード②】  
 6月30日  
 ・雑草取りをしているが、農家の田んぼには見られないほど、雑草の量が増えてきた。  
 ・どれくらい増えているのか雑草の量を調べる。  
 ・調査方法 週に1回、農家の田んぼと学校の田んぼの雑草を取って、量をくらべる。  
 ・調査さかん 7月1日～15日
- 【カード③】  
 7月19日  
 ・学校の田んぼでは、雑草の量に対して雑草取りが追いついていないと考えられる。  
 ・雑草の量と米のしゅうかくの関係について農家の石山さんに話を聞きに行く。
- 【カード④】  
 7月20日  
 [農家の石山さんのお話]  
 ・雑草に栄養をとられると、米のしゅうかくが減る。  
 ・雑草が多いと、いねが病気になることがある。  
 ・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。
- 【カード⑤】  
 7月21日  
 [学校でできる解決方法]  
 ・雑草取りの回数を増やす。  
 ・雑草取りの人数を増やす。

川村さんは、学校の田んぼで取り組んだ米作りについて文章を書こうとしていました。次は、「川村さんの考え」と川村さんが選んだ「カード①」から「カード⑤」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【川村さんの考え】  
 雑草が増える問題が起きたけれど解決してよかったな。米作りのときに記録していたカードの中から選んだカードをもとに、米作りに興味のある人に向けて、問題点とその解決方法を書こう。



条件の一つ目の二つの要素を満たしていない誤答が57.4%

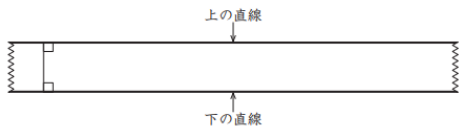
(2) 小学校算数

- ・他の領域に比べ、図形領域に課題が見られる。特に、高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること（府正答率19.5%）に課題がある。

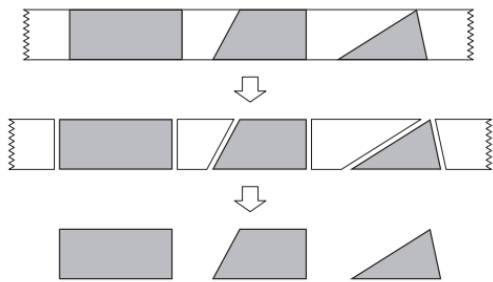
⇒三角形の面積をただ公式に当てはめて求めるだけではなく、日常の場面に対応させたり、言語を用いて互いに説明し合ったりする指導することが重要。

2

えいたさんたちは、テープを持っています。テープの上の直線と下の直線  
は平行で、テープのはばはどこも等しくなっています。

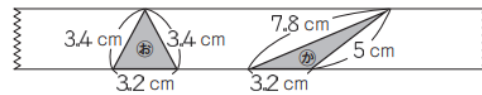


えいたさんたちは、下のようにテープを直線で切って、いろいろな図形を  
つくりました。



切り方によって、いろいろな図形ができますね。

(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような㊸と㊹の2つの  
三角形をつくります。



上の㊸と㊹の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。  
下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。  
また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ㊸の面積のほうが大きい。
- 2 ㊹の面積のほうが大きい。
- 3 ㊸と㊹の面積は等しい。
- 4 ㊸と㊹の面積は、このままでは比べることができない。

具体的な高さを示さずに記述したり、高さについて捉えられていなかったりした誤答  
が23.1%

(3) 中学校国語

- ・書くことの領域に課題が見られる。レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを捉えること（府正答率54.6%）に課題がある。
- ⇒書くことの学習では、相手意識と目的意識を踏まえて書くことが重要。推敲の場面では、その目的と相手に合った書き表し方ができているかという意識で取り組むよう指導することが重要。

- 4 「判じ絵」を調べることにした理由を明確にしようとした。
- 3 「判じ絵」に興味をもったきっかけを明確にしようとした。
- 2 「判じ絵」が現代に伝わった理由を明確にしようとした。
- 1 「判じ絵」を知ったきっかけを明確にしようとした。

一 山田さんは、「1. はじめに」の~~~~線部「もち」を「もったため」に直すことにしました。その意図として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

はん  
「判じ絵」について

山田 光一

1. はじめに  
学校図書館の本で、「判じ絵」というものがあることを知った。「判じ絵」には具体的にどのようなものがあるのか、また、「判じ絵」がいつ生まれ、どのように現代に伝わったのかに興味をもち、詳しく調べることにした。

2. 調査方法  
学校図書館、地域の図書館、インターネットで情報を集めた。


3. 調査結果

■「判じ絵」とは何か  
「判じ絵」とは、描かれている絵や記号などが何を意味しているかを解読して楽しむものである。

(ア) ただし、【図1】のように、描かれているもの【図1】ザルと意味しているものが異なるため、解読する際には、「判じる」こと、つまり、知っていることをもとに「おし量って考える」が必要になる。(イ) 言ってみれば、なぜなぞやクイズのようなものである。(ウ) また、「判じ絵」の起源を調べたところ、平安時代後期から行われていた「ことば遊び」だと考えられていることが分かった。(エ) そして、江戸時代に庶民の間に広まる中で様々なものが生まれ、浮世絵ともつながりの深い文化として定着していったという。

(オ) さらに明治に時代が移っても、人々の娯楽として親しまれ、現代でも雑誌の挿絵やテレビのクイズ番組などで見ることができる。

■「判じ絵」の解読の面白さ  
「判じ絵」の解読の仕方について、具体的に例を挙げて説明する。



【図2】は、鈴の絵に目が描かれている。描かれているものを組み合わせて解読すると、鳥の「スズメ」という意味になる。

【図2】スズメ

【図3】

【図3】は、

3 山田さんは、国語の時間に、言葉に関して興味をもったことをレポートにまとめています。次は、山田さんが書いているレポートの「下書きの一部」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【下書きの一部】

「3 『判じ絵』に興味をもったきっかけを明確にしようとした。」の誤答が29.4%

(4) 中学校数学

・複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること（府正答率32.3%）に課題が見られる。

⇒四分位範囲や箱ひげ図についての学習の際には、それらが意味することについて、交流し、言語化させるなどの工夫が重要。

7 イチョウの木の大部分の葉が黄色に変わった最初の日を黄葉日<sup>おうようび</sup>といいます。一花さんと啓太さんは、黄葉日が以前と比べるとだんだん遅くなってきている傾向にあることをニュースで知り、二人が住む地域も同じ傾向にあるのが気になりました。そこで、二人が住む地域の黄葉日を調べたところ、1961年から2020年までの60年分の記録がありました。

二人は、黄葉日の傾向を調べるために、各年の黄葉日を9月30日からの経過日数で表すことにしました。このとき、経過日数は10月1日が1日となり、10月31日は31日、11月1日は32日となります。

そして、二人は次のような表にまとめました。

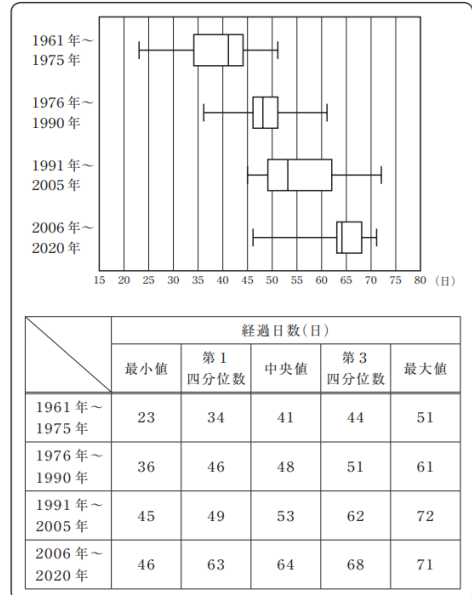
各年の黄葉日

年	黄葉日	経過日数(日)
1961	10月23日	23
1962	11月10日	41
1963	11月10日	41
1964	11月13日	44
1965	11月12日	43
⋮	⋮	⋮
2019	12月10日	71
2020	12月4日	65

二人は、上の表を見て、経過日数が年によって大きくなったり小さくなったりしていることに気づきました。そこで、60年分の経過日数を何年かごとのまとまりで分けて箱ひげ図で表し、それぞれの分布の傾向を比較することにしました。

次のページの黄葉日までの経過日数の分布は、15年ごとのまとまりとして1961年～1975年、1976年～1990年、1991年～2005年、2006年～2020年の4つに分けてまとめたものです。

黄葉日までの経過日数の分布



次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

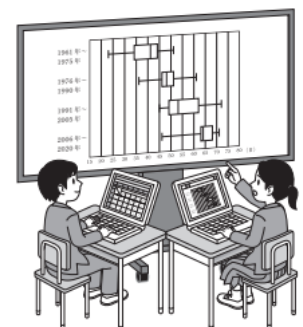
(1) 1961年～1975年の四分位範囲を求めなさい。

(2) 二人は、前ページの箱ひげ図を見て、話し合っています。

一花さん「4つの箱ひげ図を見ると、黄葉日はだんだん遅くなってきている傾向がありそうですね。」  
 啓太さん「でも、1991年～2005年と2006年～2020年の箱ひげ図は、右端と左端が同じくらいの位置にあるよ。遅くなっているといえるのかな。」  
 一花さん「確かに箱ひげ図の右端と左端についてはそうだけど、箱に着目すれば、2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にあるといえるのではないかな。」

前ページの箱ひげ図を見ると、一花さんのように「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、1991年～2005年と2006年～2020年の2つの箱ひげ図の箱に着目して説明しなさい。

「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を説明することが求められているのに、箱ひげ図から読み取れることのみ記述している誤答が15.2%であり、無回答が18.4%



(5) 中学校英語

- ・書くことの領域に課題が見られる。与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させること（府正答率23.2%）に課題がある。

⇒目的・場面・状況を踏まえた言語活動を位置付け、授業を展開することが重要。

9

- (1) 次の①、②について、例を参考にしながら、必要があれば（ ）内の語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、それぞれ会話が成り立つように英文を完成させなさい。

(例) <友達同士の会話>

A : I called you at eight last night.

B : Oh, sorry. I (        do        ) my homework then.

〔答え〕 was doing

① <先生と生徒の会話>

A : Do you have any plans for summer vacation?

B : Yes. I (        visit        ) my uncle in London.  
I can't wait!

A : Wow, that's nice!

② <友達同士の会話>

A : Oh, you have a new watch!

B : Yes, I got it yesterday.

A : (        buy        ) the watch?

B : At a department store near the station.

疑問詞 where を用いているが、一般動詞の2人称単数過去形以外の疑問文を書いている誤答が28.9%